

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 味の素株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2802 URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 範雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 大野 弘道 TEL (03) 5250 - 8161

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	298,823	8.1	14,072	37.3	14,871	37.1	8,647	138.9
19年3月期第1四半期	276,528	5.8	10,250	34.7	10,847	25.9	3,619	4.6
19年3月期	1,158,510	—	63,800	—	61,589	—	30,229	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	13.35	—
19年3月期第1四半期	5.62	—
19年3月期	46.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,091,624	631,237	53.4	899.97
19年3月期第1四半期	997,782	559,776	52.5	808.26
19年3月期	1,061,688	607,584	53.1	870.02

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	7.00	8.00	15.00
20年3月期	—	—	—
20年3月期 (予想)	8.00	8.00	16.00

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

中間期及び通期ともに、平成19年5月11日に発表した平成20年3月期の連結業績予想を変更していません。

なお、当社は、平成19年6月11日に発表したとおり、平成19年10月1日を期して、株式交換によりカルピス(株)を当社の完全子会社とする予定です。この完全子会社化による影響、その他連結業績に与える影響につきましては、詳細が確定次第お知らせいたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の売上高は、前年同期を222億円上回り、2,988億円(前年同期比108.1%)となりました。利益面では、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ140億円(前年同期比137.3%)、148億円(前年同期比137.1%)、86億円(前年同期比238.9%)となりました。

(国内食品事業)

国内食品事業の売上高は、前年同期を13億円上回る1,517億円(前年同期比100.9%)、営業利益は前年同期を17億円下回る21億円(前年同期比55.3%)となりました。冷凍食品およびコーヒー類の売上げが堅調に推移したことや、昨年6月より連結対象となった(株)ギヤバンの売上げが期初から貢献したこと等により、売上高は前年同期をわずかに上回り、営業利益は、原材料価格の高騰等により大幅な減益となりました。

家庭用調味料・加工食品につきましては、うま味調味料「味の素」およびコンソメは前年同期並みの実績を確保し、中華だし類の売上げは堅調に推移しましたが、「ほんだし」は減収となりました。スープ類の売上げは、前年同期を下回りました。「Cook Do」(クックドウ)は、主力品種を中心に順調に売上げを伸ばしました。マヨネーズ類は、「ピュアセレクト サラリア」が前年同期をやや下回りましたが、原材料価格高騰にともなう価格改定前の需要の影響もあり、全体では大幅に売上げを伸ばしました。

業務用調味料・加工食品につきましては、厳しい外食市場の影響を受け前年同期をやや下回りました。蛋白質改質酵素製剤「アクティバ」類は海外での伸びも大きく、順調に推移し、天然系調味料は堅調に推移しました。

甘味料・栄養食品につきましては、家庭用・外食市場向けの低カロリー甘味料は、「パルスイート」、「パルスイート カロリーゼロ」が順調に推移したこと等により、売上げは前年同期を上回りました。アミノ酸サプリメント「アミノバイタル」の売上げは、粉状製品については大きく伸ばしましたが、ゼリードリンクタイプが前年同期を大きく下回ったこと等により減収となりました。

弁当・惣菜等のデリカにつきましては、売上げが前年同期を下回り、ベーカリー製品につきましても、前年同期をやや下回りました。

冷凍食品につきましては、家庭用は、ハンバーグ・ピラフ類、主力品の「ギョーザ」が好調に推移して売上げが前年同期を上回り、業務用の売上げは前年同期をわずかに下回りましたが、全体では増収となりました。

油脂につきましては、売上げが前年同期を下回りました。

コーヒー類につきましては、インスタントコーヒーが伸び悩んだものの、レギュラーコーヒー、液体コーヒーが順調に売上げを伸ばし、増収となりました。

飲料につきましては、「カルピス」等は前年同期を下回ったものの、「カルピスウォーター」が順調に推移し、売上げは前年同期並みの実績を確保しました。

チルド乳製品につきましては、減収となりました。

(海外食品事業)

海外食品事業の売上高は、前年同期を93億円上回る374億円(前年同期比133.1%)、営業利益は、前年同期を19億円上回る46億円(前年同期比170.3%)となりました。風味調味料や家庭用・外食市場向け「味の素」の伸長に加え、為替の好影響もあり、大幅な増収・増益となりました。

調味料では、アジアにつきましては、家庭用・外食市場向け「味の素」および家庭用風味調味料がいずれも前年同期の売上げを大きく上回りました。米州につきましては、南米における家庭用風味調味料が大幅な増収となりました。欧州・アフリカにつきましては、西アフリカ諸国の家庭用「味の素」が大きく伸ばしました。

加工食品では、アジアにつきましては、為替の影響もあり、即席麺の売上げが前年同期を大幅に上回り、缶コーヒー「Birdy」(バーディ)も増収となりました。

(アミノ酸事業)

アミノ酸事業の売上高は、前年同期を71億円上回る719億円(前年同期比111.0%)、営業利益は、前年同期を11億円下回る29億円(前年同期比71.4%)となりました。売上高については、化成品等で前年同期をやや下回りましたが、為替の好影響もあり飼料用アミノ酸、甘味料等で大幅な増収となり、全体では好調に推移しました。営業利益は甘味料等で増益となったものの、加工用うま味調味料や化成品等の減益により、全体では前年同期を大きく下回りました。

加工用うま味調味料につきましては、食品加工業向け「味の素」は、国内、海外とも販売が堅調で、売上げは前年同

期をやや上回りました。核酸は、海外の大手需要家向けを中心に販売数量を伸ばし、大幅増収となりました。

飼料用アミノ酸につきましては、リジンは、販売数量、価格ともに前年同期を上回り、大幅な増収となりました。スレオニンは、穀物環境の悪化および競争激化のため価格は前年同期を大きく下回りましたが、積極的な販売施策により販売数量は大幅に増加し、増収となりました。トリプトファンは、販売数量、価格ともに前年同期を大きく上回り、大幅な増収となりました。

医薬用・食品用アミノ酸につきましては、日本で減収となったものの、海外では欧米を中心に好調に売上げを伸ばし、全体として堅調に推移しました。

加工用の甘味料につきましては、販売数量を伸ばし、売上げは好調に推移しました。南米における甘味料アスパルテームを使用した粉末ジュース「Refresco MID」（リフレスコ ミッド）の売上げは前年同期を大幅に上回りました。

医薬中間体につきましては、日本での販売の遅れにともない、売上げは前年同期をわずかに下回りました。

化成品につきましては、化粧品原料の売上げは、海外向けを中心に順調に推移しました。アミノ酸化粧品「ジーノ」も好調に売上げを伸ばしました。コンピュータ用の層間絶縁フィルムは、市場における在庫調整の影響により、売上げは前年同期を下回りました。

(医薬事業)

医薬事業の売上高は、前年同期を46億円上回る225億円（前年同期比125.7%）、営業利益は、前年同期を39億上回る63億円（前年同期比267.0%）となりました。

自社販売製品では、電解質輸液「ソリターT」の売上げが前年同期を下回ったものの、肝疾患用分岐鎖アミノ酸製剤「リーバクト」、成分栄養剤「エレンタール」等の売上げが前年同期を上回り、提携販売品においても、カルシウム拮抗降圧剤「アテレック」、骨粗鬆症治療剤「アクトネル」の売上げが伸長した結果、大幅な増収となり、これに加えてロイヤルティ収入の増加もあったため大幅な増益となりました。

(その他)

その他の事業の売上高は、前年同期を53百万円下回る151億円（前年同期比99.7%）、営業利益は、前年同期を27百万円上回る7億円（前年同期比103.7%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末の1兆616億円に対して299億円増加し1兆916億円となりました。これは主としてギフト品等の季節要因もあり売掛金や棚卸資産が増加したことや、設備投資により有形固定資産が増加したこと等によるものです。また、円安による在外子会社の貸借対照表の円貨への換算額増加も総資産増加の要因となっております。有利子負債残高は、配当支払い等の季節要因に加え、設備投資等の資金を一部借入で賅ったこともあり、前期末に比べて190億円増加し、1,702億円となりました。純資産については、営業収益の増加や為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べて236億円増加しました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は5,828億円となり、自己資本比率は53.4%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ① 法人税等の計上方法：見積実効税率を適用
- ② 貸倒引当金の計上方法：一部簡便法を適用

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

区 分	平成19年3月期 (平成19年3月31日現在)		平成20年3月期 第1四半期 (平成19年6月30日現在)		増減	平成19年3月期 第1四半期 (平成18年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
資産の部		%		%			%
I 流動資産	460,126	43.3	474,414	43.5	14,287	425,552	42.6
現金及び預金	81,958		76,926		△5,031	68,498	
受取手形及び売掛金	206,228		212,876		6,647	195,043	
有価証券	32		212		180	3,439	
たな卸資産	122,652		132,843		10,190	111,599	
繰延税金資産	11,442		11,208		△234	10,804	
その他	38,955		41,578		2,622	37,299	
貸倒引当金	△1,144		△1,231		△86	△1,133	
II 固定資産	601,561	56.7	617,210	56.5	15,648	572,230	57.4
1. 有形固定資産	385,928	36.4	401,099	36.7	15,170	351,920	35.3
建物及び構築物	312,585		323,403		10,817	274,933	
機械装置及び運搬具	496,534		516,819		20,284	453,655	
その他	59,056		61,339		2,282	54,523	
減価償却累計額	△571,773		△594,264		△22,491	△541,184	
土地	59,708		60,449		740	56,900	
建設仮勘定	29,818		33,353		3,535	53,093	
2. 無形固定資産	63,900	6.0	62,494	5.7	△1,405	66,874	6.7
のれん	38,497		37,319		△1,178	42,016	
その他	25,402		25,175		△227	24,858	
3. 投資その他の資産	151,733	14.3	153,616	14.1	1,882	153,434	15.4
投資有価証券	134,366		135,867		1,500	137,396	
長期貸付金	409		411		2	288	
繰延税金資産	7,485		7,530		45	6,639	
その他	10,335		10,669		334	9,799	
貸倒引当金	△863		△863		0	△689	
資産合計	1,061,688	100.0	1,091,624	100.0	29,936	997,782	100.0

(百万円未満切捨て)

区 分	平成19年3月期 (平成19年3月31日現在)		平成20年3月期 第1四半期 (平成19年6月30日現在)		増減	平成19年3月期 第1四半期 (平成18年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
負債の部		%		%			%
I 流動負債	266,453	25.1	271,663	24.9	5,210	232,606	23.3
支払手形及び買掛金	122,029		120,707		△1,321	112,685	
短期借入金	27,734		44,625		16,891	31,500	
コマーシャルペーパー	—		—		—	10,000	
1年以内返済予定長期借入金	401		306		△94	694	
1年以内償還予定社債	15,000		15,000		—	—	
未払法人税等	12,122		7,130		△4,992	5,849	
賞与引当金	4,297		3,552		△745	3,444	
役員賞与引当金	177		108		△69	—	
その他	84,690		80,232		△4,457	68,432	
II 固定負債	187,650	17.7	188,724	17.3	1,073	205,398	20.6
社債	70,000		70,000		—	85,000	
長期借入金	38,088		40,317		2,229	35,939	
繰延税金負債	5,186		5,504		318	6,897	
退職給付引当金	51,421		50,084		△1,337	55,826	
役員退職慰労引当金	2,201		1,608		△593	1,776	
環境対策引当金	214		214		—	—	
その他	20,538		20,995		457	19,960	
負債合計	454,103	42.8	460,387	42.2	6,283	438,005	43.9
純資産の部							
I 株主資本	554,334	52.2	557,828	51.1	3,494	531,499	53.3
資本金	79,863	7.5	79,863	7.3	—	79,863	8.0
資本剰余金	111,581	10.5	111,582	10.2	0	111,579	11.2
利益剰余金	365,791	34.5	369,368	33.9	3,576	342,622	34.3
自己株式	△2,902	△0.3	△2,985	△0.3	△82	△2,565	△0.2
II 評価・換算差額等	9,111	0.9	24,983	2.3	15,871	△7,859	△0.8
その他有価証券評価差額金	15,633	1.5	16,059	1.5	425	18,655	1.9
繰延ヘッジ損益	27	0.0	48	0.0	20	84	0.0
為替換算調整勘定	△6,549	△0.6	8,875	0.8	15,424	△26,599	△2.7
III 少数株主持分	44,138	4.1	48,425	4.4	4,287	36,136	3.6
純資産合計	607,584	57.2	631,237	57.8	23,652	559,776	56.1
負債純資産合計	1,061,688	100.0	1,091,624	100.0	29,936	997,782	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

区 分	平成19年3月期 第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		平成20年3月期 第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		増減	平成19年3月期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売上高	276,528	100.0	298,823	100.0	22,295	1,158,510	100.0
II 売上原価	202,471	73.2	214,976	71.9	12,504	828,050	71.5
売上総利益	74,056	26.8	83,847	28.1	9,790	330,459	28.5
III 販売費及び一般管理費	63,806	23.1	69,775	23.4	5,969	266,658	23.0
営業利益	10,250	3.7	14,072	4.7	3,821	63,800	5.5
IV 営業外収益	3,577	1.3	4,939	1.7	1,362	11,137	1.0
受取利息	353		411		58	1,784	
受取配当金	347		435		87	825	
持分法による投資利益	1,376		1,125		△250	3,920	
その他	1,499		2,966		1,467	4,606	
V 営業外費用	2,980	1.1	4,139	1.4	1,158	13,348	1.2
支払利息	984		1,289		304	5,008	
その他	1,995		2,850		854	8,340	
経常利益	10,847	3.9	14,871	5.0	4,024	61,589	5.3
VI 特別利益	45	0.0	1,729	0.5	1,683	6,990	0.6
固定資産売却益	7		1,101		1,093	373	
投資有価証券売却益	10		162		152	4,093	
その他	27		464		437	2,524	
VII 特別損失	1,202	0.4	360	0.1	△842	12,859	1.1
固定資産除却損	412		138		△273	7,725	
その他	789		221		△568	5,133	
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,690	3.5	16,240	5.4	6,550	55,721	4.8
法人税等	5,362	1.9	6,334	2.1	971	22,243	1.9
少数株主利益	707	0.3	1,257	0.4	550	3,248	0.3
四半期(当期)純利益	3,619	1.3	8,647	2.9	5,027	30,229	2.6

(3) 事業の種類別セグメント情報

平成19年3月期第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医 薬	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	150,403	28,133	64,822	17,926	15,243	276,528	—	276,528
(2) セグメント間の 内部売上高	660	421	4,564	35	15,047	20,730	(20,730)	—
計	151,063	28,555	69,386	17,962	30,290	297,258	(20,730)	276,528
営業費用	147,092	25,846	65,288	15,599	29,551	283,378	(17,101)	266,277
営業利益	3,971	2,709	4,097	2,362	739	13,879	(3,628)	10,250

(注1) 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

(注2) 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスweet」、 弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、 チルド乳製品等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、 医薬中間体、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

(注3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は3,806百万円であり、その主なものは、当社の管理部門にかかる費用及び一部の研究所費用です。

平成20年3月期第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医 薬	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	151,717	37,456	71,922	22,537	15,189	298,823	—	298,823
(2) セグメント間の 内部売上高	586	444	4,257	27	14,535	19,851	(19,851)	—
計	152,304	37,900	76,179	22,565	29,725	318,675	(19,851)	298,823
営業費用	150,108	33,287	73,252	16,257	28,959	301,864	(17,112)	284,751
営業利益	2,195	4,613	2,926	6,307	766	16,810	(2,738)	14,072

(注1) 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

(注2) 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスイート」、弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、チルド乳製品等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、医薬中間体、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

(注3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は3,180百万円であり、その主なものは、当社の管理部門にかかる費用及び一部の研究所費用です。